【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【公開番号】特開2012-169749(P2012-169749A)
【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2012-035
【出願番号】特願2011-27246(P2011-27246)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　25/02　　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　 7/00　　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　 1/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　25/02　　Ｖ
Ｈ０４Ｌ　25/02　３０２Ｚ
Ｈ０４Ｌ　 7/00　　Ｚ
Ｈ０５Ｋ　 1/02　　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成26年2月4日(2014.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
第１の接続部および第２の接続部を有し、差動信号を送信する送信回路と、
第３の接続部および第４の接続部を有し、前記差動信号を受信する受信回路と、
一端が前記第３の接続部に接続され、前記差動信号の対をなす一方の信号を伝播する第１の信号線路と、
一端が前記第２の接続部に接続され、他端が前記第４の接続部に接続され、前記差動信号の対をなす他方の信号を伝播するとともに前記第１の信号線路より電気長が長い第２の信号線路と、
前記第１の信号線路の他端と前記第１の接続部とに接続された送信側調節配線と、
を備え、
前記第１の接続部から前記送信側調節配線および前記第１の信号線路を介して前記第３の接続部までの電気長と、前記第２の接続部から前記第２の信号線路を介して前記第４の接続部までの電気長との差に対応するスキューが、許容される最大スキュー以下となるように調節されていることを特徴とする差動信号伝送回路。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、本発明の他の差動信号伝送回路は、第１の接続部および第２の接続部を有し、差動信号を送信する送信回路と、第３の接続部および第４の接続部を有し、前記差動信号を受信する受信回路と、一端が前記第３の接続部に接続され、前記差動信号の対をなす一方の信号を伝播する第１の信号線路と、一端が前記第２の接続部に接続され、他端が前記第４の接続部に接続され、前記差動信号の対をなす他方の信号を伝播するとともに前記第１

の信号線路より電気長が長い第２の信号線路と、前記第１の信号線路の他端と前記第１の接続部とに接続された送信側調節配線と、を備え、前記第１の接続部から前記送信側調節配線および前記第１の信号線路を介して前記第３の接続部までの電気長と、前記第２の接続部から前記第２の信号線路を介して前記第４の接続部までの電気長との差に対応するスキューが、許容される最大スキュー以下となるように調節されていることを特徴としている。